

国内株式における議案別議決権行使の状況について

2024年1月1日～2024年3月31日に開催された株主総会の議決権行使結果について開示します。

1. 会社提案議案

議案項目		賛成	反対	棄権	議案数 合計	反対行使 比率(%)
会社機関に関する議案	取締役の選解任※1	689	71	0	760	9.3%
	監査役の選解任※1	72	7	0	79	8.9%
	会計監査人の選解任	2	0	0	2	0.0%
役員報酬に関する議案	役員報酬※2	32	4	0	36	11.1%
	退任役員の退職慰労金の支給	1	1	0	2	50.0%
資本政策に関する議案 (定款に関する議案を除く)	剰余金の処分	60	0	0	60	0.0%
	組織再編関連※3	0	0	0	0	—
	買収防衛策の導入・更新・廃止	0	1	0	1	100.0%
	その他資本政策に関する議案※4	1	0	0	1	0.0%
定款に関する議案		15	0	0	15	0.0%
その他の議案		0	0	0	0	—
合 計		872	84	0	956	8.8%

※1) 取締役の選解任および監査役の選解任は、子議案ベースで集計しています。

※2) 役員報酬額改定、ストックオプションの発行、業績連動型報酬制度の導入・改訂、役員賞与等。

※3) 合併、営業譲渡・譲受、株式交換、株式移転、会社分割等。

※4) 自己株式取得、法定準備金減少、第三者割当増資、資本減少、株式併合、種類株式の発行等。

2. 株主提案議案

	賛成	反対	棄権	議案数 合計	賛成行使 比率(%)
合 計※5	2	6	0	8	25.0%

※5) 取締役の選解任および監査役の選解任は、子議案ベースで集計しています。

3. 議決権行使結果概況

- 当社は、議決権行使ガイドラインに基づき議案を精査しています。
- この期間に開催された総会数は88総会、議案数は会社提案議案が956件、株主提案議案が8件ありました。そのうち、会社提案議案は84件に反対し、株主提案議案は2件に賛成しました。
- 取締役の選解任については、独立性のある社外取締役が一定数選任されていない場合、収益性が恒常的に低く今後も改善が見込めないと判断される場合、監査等委員に独立性のある社外取締役が過半数選任されていない場合、女性の取締役が選任されていない場合等は、個別に企業の状況を踏まえながら、責任のある取締役の再任に反対しました。
- 社外取締役および社外監査役については、独立性に問題がある場合などに反対しました。
- 役員報酬については、短期的なインセンティブにつながる内容のストックオプションの付与を求める議案などに反対しました。
- 退任役員の退職慰労金の支給については、支給金額または金額決定プロセスの開示が無い場合に反対しました。
- 買収防衛策を導入・更新する議案については、独立性のある社外取締役が過半数選任されていない場合に反対しました。
- 株主提案については、株主価値の向上に寄与するかどうかを基本的な判断基準としています。定款を一部変更することを目的として提案された議案については、定款は会社の目的や組織を定義するものであり個別具体的な内容を記載するものではないと考えておりますが、株主価値向上に資する提案内容である場合は、企業の取り組みや目標を考慮した上で賛成しました。その結果、資本コストや株価を意識した経営の取り組みに関する情報開示を求める提案、剰余金の配当等を取締役会以外でも決議可能とするよう定款を変更する提案に賛成しました。